

## 令和4年度事業報告

### 概要

我が国の経済は、昨年に引き続きロシアのウクライナ侵略で世界的な物価高騰に見舞われ停滞したままです。コロナ禍での「非日常」も続いています。感染者数が多くなったり少なくなったりの繰り返しですが、ようやく収束に向かうのかと思われているところです。こうした中、当センターでもコロナ禍での定時総会は人数制限での開催、地区会議、専門委員会、各教室の開催は感染に十分気遣いながらの開催でした。

このような状況にありながらも事業実績は、昨年度と比較すると順調に回復し、文化財発掘作業の労働者派遣事業の受注や、会員皆様の頑張りも有り当初予算額を達成できました。

重要課題である会員確保は、昨年紙面を改め機関紙「シルバー太宰府」の全戸配布と、募集チラシでは全隣組回覧の効果から、3月末での会員数は、237名となり昨年度比で11名の増となりました。しかしながら、新たな就業開拓には繋がりませんでした。

安全就業では、就業現場のパトロール実施、結果報告等の配布によって、会員皆様の安全に対する意識が向上したと思われませんが、前年と比べ事故が増加しました。ほんのちよつとの油断からか、昨年度は無かった傷害事故が6件となったことが目立ちます。皆さん安全就業に努めましょう。就業途上の交通安全と車両を運転する会員は特に安全運転に集中してもらいましょう。

今後、コロナ禍が収束するまでは、感染防止の継続と注意喚起を行いながら入会の促進と事業の実績向上に向けて更なる取組みを行い、安定的な運営を構築していきます。これらを実践するためには、今まで以上に会員、役職員が一体となって事業の効率化や経費削減を推進すると共に事業開拓に取組み、地域社会に貢献することにより、市民の信頼を得ることが必要です。

最後に、新入会員研修、健康講座、スマートフォン操作教室、シルバー文化・美術展開催において理事、専門委員皆さんの熱意の取組は、きっと将来的に会員保持と会員増に繋がると期待しています。

定例理事会を計4回開催。各専門委員会は出来る限りにおいて開催しました。

事業実績は 13,324万円、会員数は3月末で237名。

以下、令和4年度の具体的な取組みについて報告します。

- 一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援

## 就業開拓提供等事業

### (1) 受託事業

地域に根ざした就業促進、高齢者の生きがいや社会参加意識の高揚に繋がる活力ある高齢社会の推進に努めました。

#### 受託事業実績(令和4年度)

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
221人	24,185人	93.2%	128,777千円

※主な就業内容は、草刈り、剪定、草取り、建物清掃、襖・障子の張替え、大工仕事、屋内片付け、屋内外の軽作業、広報誌仕分け配布、ワンコインサービス(簡易な困りごと支援)、着物着付け、子育て・福祉・家事援助サービス事業、介護予防日常生活支援総合事業等

### (2) 独自事業

高齢者の知識、経験、能力を活用し会員の創意工夫をこらした多様なサービスの展開を行い地域社会に提供し事業の推進に努めました。

- ・地域の公民館やJAゆめ畑において週2回(1、2月を除く)、一般家庭の包丁や剪定鋏などの刃物研ぎを実施しました。
- ・一般市民を対象にしたパソコン教室をいきいき情報センター等で実施しました。
- ・古着等を利用した布小物等の製作。布ぞうり、布小物を作られています。
- ・レザー教室を文化ふれあい館で開催。基礎と応用の2コースで革製品を作られています。
- ・樹脂粘土を使用した作品作り教室を開催し、精巧な出来栄えの草花やミニチュア寿司を作られています。
- ・近年コロナ禍の為イベント開催なかったが、今年は大会会場等参加者の多い場所で布小物、樹脂粘土作品の出展機会が有り、購入して頂き会員の士気が上がりました。
- ・養蜂事業(日本ミツバチ)を2月中旬から巣箱を設置し開始した。順調に生育していると思われたが、途中で巣を放棄して逃げ出し失敗しました。
- ・移動スーパー販売事業

高齢者も含め地域で買い物に苦慮しているという声を聞き、センターとして地域課題の解消に役立ちたいという思いから、事業を開始しました。

買い物に不便を感じている地域の皆様のところへ、毎週1回市内23箇所の駐車場所を巡回しています。

前年度と比較すると売り上げは増えたが、安定的な運営の為には、相当な利用増を図っていかねばなりません。

独自事業実績（令和4年度）

就業実人員	就業延人員	契約金額
20人	1,072人	4,469千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業

労働者派遣事業

地域における就業ニーズと高齢者が求める就業形態に応えるために、高齢者の就業機会を提供しました。

太宰府市実施事務所（令和4年度）

就業実人員	就業延人員	雇用就業率	契約金額
26人	505人	11 %	3,494千円

※主な就業内容は、文化財発掘作業、店舗での室内作業等

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ・総務広報・就業開拓委員会で、機関紙「シルバー太宰府」、会員だより「宝満」を発行し情報の発信に努めた。
- ・シルバー事業の理解と支援が得られるよう、市民や事業所等に広く周知するため、機関紙、ホームページ、市広報誌などを活用した広報と情報公開を実施しました。
- ・県連合会大会の参加やSC文化・美術展にて会員が制作した作品の展示販売や参加者との交流を行いシルバー事業の周知広報を行った。

(2) 社会参加活動

シルバー事業の理解と周知及び地域社会に少しでも寄与するためボランティア活動を実施しました。地道な取組みであり素晴らしいことなので、もっと市民に認識してもらおう、アピールしても良いのではと思います。

- ・会員によるボランティア班「里山を守る会」が政庁跡周辺と市民の森、御笠川遊歩道、政庁通りのゴミ・空き缶の回収などの美化活動を定例で月1回、雨天を除き9回実施した。参加者は91名でした。
- ・毎年10月の全国SCクリーンデーを、15日(土)に実施した。各地域区の通学路や

公園等の清掃・美化活動に126名が参加しました。

- ・社会参加活動のキッカケとなる、会員活動推進事業(ポイント制)を総務広報・就業開拓委員会で発案した結果、地区会議参加やクリーデー参加増となり、SCの目的である地域社会の発展に会員各位が協力できた。

## 2 安全・適正就業推進事業

### (1) 安全就業対策

- ・「安全はすべてに優先する」の理念のもと、自らの健康を維持し、センターが提供する仕事を安全・適正に遂行できるよう啓発活動を行い安全意識の高揚を図りました。事故件数は昨年度の合計8件から10件で少し増え、中でも傷害事故に関しては0件が6件と激増しました。

・「安全就業決起大会」 令和4年8月2日 雨天の為中止

- ・連合主催の安全・適正就業パトロールが8月31日に実施された。就業現場を2か所パトロールされ、安全就業対策の取組状況(安全委員会の活動内容、基本方針)の聞き取りを受け、結果は良好の評価をもらい、下記の連合会安全就業促進大会での事例発表のキッカケとなった。

・福岡県連合会主催の安全就業促進大会 令和4年11月29日

6名参加 福岡市早良区東市民センター

草刈班の田中信幸総班長が、代表で安全就業の事例発表をされた。

- ・「安全就業促進大会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止した。
- ・安全標語の募集は62点の応募があり、中から優秀作品3点を選びました。
- ・安全適正就業委員会で就業現場を巡回し「安全に対する心構え」、「作業前のミーティング」、「作業道具の整理」等の状況など安全作業チェック表によりチェックを行い、安全就業に関するパトロールを5回、延べ22か所のパトロールを実施しました。そのパトロール結果報告を配布し安全就業に繋がるよう努めましたが、安全パトロール未実施の就業閑散期に3件の事故が発生したことは、この期に油断が生じたと思えます。今後は事故ゼロを実現するよう安全就業への取り組み強化が必要です。

### (2) 適正就業の徹底

- ・就業適正要綱に基づき、センターの趣旨目的に沿った公平で適正な就業機会の提供を進めました。
- ・ワークシェアリング等により多くの会員に公平な就業機会を提供するため、会員の希望に沿った就業提供、未就業会員の解消に努めました。

## 3 相談事業

### (1) 就業相談の実施

会員及び入会を希望する方を対象に随時、来訪や電話等により就業相談を行い

ました。就業先相談を令和5年2月6日～10日に設定したところ、5件の相談がありました。

#### (2) 入会説明会の開催

入会説明会は毎月1回開催し、希望する就業について個別の面談を行ない入会促進に努めました。なお、説明会以外でも随時希望者に対して説明を行った。

### 4 研修・講習事業

#### (1) 剪定・チェーンソー技能講習会 令和4年7月28日、29日、30日の3日間

1名参加 四王寺県民の森研修棟

#### (2) 訪問型生活支援担い手研修 令和4年10月2日～12月10日までの計6日間

1名参加 プラムカルコア太宰府

訪問型サービス事業所で働くことができる資格を取得

#### (3)刈払機技能講習会

令和4年10月27日、28日の2日間

2名参加 筑紫野市シルバー人材センター

#### (4) 高齢者交通安全教室

令和4年11月7日

4名参加 筑紫野自動車学校

#### (5) シルボンス福岡県大会

令和5年1月26日 JR九州ホール

他 SC の活動事例や講演「世界が注目する日本の介護」、会員作品展示 女性会員11名参加

#### (6) 新入会員研修会

令和5年2月1日 センター2階研修室

就業体験発表、専門委員会報告

接遇講義「会員のマナーについて」

講師 嶋野 智子さん

対象者34名(内参加26名、就業等で欠席8名)

#### (7) 健康講座(フレイル予防)

令和5年2月8日、15日、3月8日

器械で身体測定。その測定値から、健康寿命を維持するためにはどうすれば良いか、何に気を付ければ良いか学習 3回開催 参加45名 協力 大賀薬局

#### (8) 女性会員リーダー研修会

令和5年2月21日 県中小企業振興センター

講義「SC の女性会員リーダーのあり方を考える」  
G 討議「望ましいリーダーの在り方」「女性会員が増えるために必要な事とは」 1名参加

#### (9) スマートフォン操作教室

令和5年2月28日、3月8日、15日 スマートフォンの便利な利用法の操作学習 3回開催

参加43名 協力 ベスト IT ビジネス